

## WBCのPVに150人

## 大画面に熱い声援

飯田市スポーツ協会は10日、「ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)」のパブリックビューイング(PV)を市内で開いた。野球少年ら約150人が参加し、1次ラウンド「日本×韓国」を観戦。大画面を前に熱い声援を送って盛り上がった。

## 飯田市スポーツ協会

PVを初実施した昨年のサッカーワールド杯の好評を受け、WB

Cでも企画。飯田勤労者体育センター第二体育館を会場に、ステージ上の壁に試合中継を映した。

大画面で一流のプレーを見るとともに、大人数で集まって応援することでスポーツ観戦の楽しさに触れてもらおうと狙った。地域の少年野球クラブや中学校野球部を招待した。

参加者は、日本代表の初戦に続く白星を期待し、メガホンを持って観戦。得点が入ったり、ファインプレーが出たりすると、メガホンをたたく音と歓声が会場に響いた。

試合は日本代表が勝利。鼎小学校4年で鼎の少年野球クラブに所属する神戸琥丸君(10)は「映画館みたいで迫力があった。友達たちと一緒に応援できて家で見るより楽しい」と笑顔だった。

同協会の森山和幸代表理事は「皆で集まってスポーツ観戦する楽しさを改めて感じてもらえたら。今年はバスケットやラグビーの世界大会もあるのでさまざまな競技でPVを開きたいと考えている」と話していた。



画面に向かって声援を送る子どもたち